



専攻科レター

Vol. 17

2024. 3 岩手県立黒沢尻工業高等学校 専攻科広報

I
N
D
E
X

- 1 修了式(2年間を振り返って【2年生】)
- 2 令和6年度入学者選抜検査概況
- 3 専攻科見学(大船渡東高校)
- 4 次世代モビリティハイスクール
- 5 1年間を振り返って【1年生】

卒業式 10名が専攻科修了!!

3月1日(金)第一体育館で修了式が挙行されました。今年の修了生は、何事にも興味をもち、コースの枠を超えて目標に協力して取り組み、素晴らしいグループ研究作品や修了研究の作品を完成させました。就職先での活躍を期待しています。



2年間を振り返って…(2年生)

入学当初は授業について行けるのか、修了できるのかなど不安がありましたが、先生方が丁寧に授業の内容を教えてくださいました。修了研究では自分の進もうと決めた分野について理解を深めることができました。専攻科で学んだことを活かしながら、入社後も更に成長できるように頑張りたいと思います。 **機械コース(黒工・電子機械科卒)**

振り返ると、専攻科の2年間は技術者として成長でき、また社会人になるためにも大切な時間でした。実践的な学習はもちろん、モノづくりに触れる装置の製作活動は計画や段取りなど考えることを求められるため、他の学校に比べてレベルが高い授業を受けることができたと感じました。また、受験した資格全てを取得することで、社会的に自身の能力に自信をつけることができたため、とても満足しています。努力したことがしっかりと結果につながり、大きく自分を成長させることができました。 **電気コース(黒工・電気科卒)**

報告 令和6年度入学者の選抜検査概況

今年度実施した選抜検査概況は下記の表のとおりとなりました。受験者合計は9名で合格者は9名、1名辞退がありましたので、令和6年度の専攻科新1年生は8名となります。次年度の選抜検査実施要項は完成後に各校にご連絡いたします。

	推薦 (9月実施)	一般 (10月実施)	再募集 (12月計画)	合計
募集人数	8名	4名	(3名)	12名
受験者	8名	1名	出願者なし	9名
合格者	8名	1名	実施せず	9名

編集後記
修了生10名の出身校は黒沢尻工業高校9名、花北青雲高校1名です。修了証書を手にし、それぞれの道へ歩んでいきました。修了式後には謝恩会も開催していただき桜の花の開花前でしたが、思い出話に笑顔がたくさん咲き乱れる会となりました。修了生・保護者の皆様、本当にありがとうございました。さて、この専攻科レターは、県内の工業系高校の先生方や、生徒保護者に向けての情報発信を目的に発行しています。次年度も専攻科レターを通じて黒工専攻科の情報を発信していきます。どうぞよろしくお願いたします。



ご覧いただきありがとうございました!

岩手県立黒沢尻工業高等学校専攻科広報 専攻科レター Vol.17 2024年3月 発行

〒024-8518
北上市村崎野24地割19番地
電話 0197-66-4115
FAX 0197-66-4117



感謝 大船渡東高校専攻科来校!

2月15日(木)大船渡東高校機械電気科1年生20名が、企業実習の合間に専攻科に来校していただきました。専攻科の学習内容や修了研究の説明を行いました。ぜひ今後の進路の参考に活かしてもらいたいです。遠くからお越しいただき、ありがとうございました。



開催 次世代モビリティハイスクール

2月26~27日、EVに関する知識や指導技術を習得することを目的とした講習会が開催されました。一関工業高等技術専門学校と岩手三菱自動車販売(株)の方を講師に招き、EV自動車の解体・組立や自動制御の仕組みを、様々な体験を通して学ぶことができました。



感想 1年間を振り返って(1年生)

資格やテストの勉強、グループ研究の取り組みが忙しくあっという間の一年間でした。技術や知識の向上も感じたがプレゼンテーションやオープンキャンパス、文化祭などを通し、物事を人に伝える力も向上したと思います。また、グループ研究では役割分担を決めたり、進捗状況の報告をすることでメンバーとのコミュニケーションを取り合いながら作業できたのが良かったです。来年度は、始まってすぐに就職試験があるため、適正検査と面接で良い結果を残せるように努力していきたいです。また、修了研究については早めにテーマを設定し、見通しを立てて取り組み、完成度の高い作品を作りたいです。

機械コース(黒工・電子機械科卒)

私は専攻科入学時に、「取得できる資格はすべて取得する」という目標を立てました。専攻科ではやらなければいけないことが多く、日々予定が立て込みましたが、時間を見つけて効率よく勉強を行い、受験した資格・検定はすべて合格できました。日々の積み重ねが大切だということを実感しました。2年生では修了研究があります。自分の持っている技術を最大限活かし、誰もが分かりやすい修了研究作品を製作していきたいです。 **機械コース(盛岡工・電子機械科卒)**

工業高校卒業後は専攻科で実践力あるエンジニアを目指そう!